

ハ乙女

あかあか
みやい
明々と宮居にともる初灯り

幸せ祈りて階に伏す
松田澄子



成人おめでとうございます

年初めに思う

南砺市議会議員

才川昌一

新年あけましておめでとうございます。

昨年は暖かいご支持をいただき、市議三期目の当選をさせていただきました。今年も変わらずご支援賜りますようお願いいたします。

さて、昨年の暮れの衆議院選挙において自民党が政権に返り咲き、早くも低迷する経済再生に向けてアベノミクスが動き出しました。

南砺市への影響を考えると、金融緩和によって多くの企業が投資を増やし、雇用が増え、そのことにより税収も増えて、財政が健全化され、また、公共投資の確実な実行へと繋がっていくことが期待されます。しかしながら、税収増にはしばらく時間がかかりそうですし、公共投資には真に市民の要望をとらえた事業の実行が求められるものと思います。まだまだ、国の動向をしっかり注視していかなければなりません。まだまだ、大きく期待したいものです。

南砺市も合併してから早九年目を迎えておりますが、合併特例債や交付金などの合併後の財政優遇も残り少なくなる中で、後期総合計画の推進・社会保障費や既存施設の修繕や解体、道路や橋梁の維持管理・長寿命化が求められ、更なる行革に取り組み、身の丈に合った財政規模にすべく努力していきたいと思っております。また、南砺インターの開設や北陸新幹線開通が見込まれる中、市への確実な追い風とすべく確かな事業の推進や、市の最大の課題である人口減少対策、消防署再編の今後の動向、井波高校跡地の有効利用、ゴミ処理施設の統合や議会改革など、課題解決に向けて努力を重ねてまいります。

今年も付託をいただいた皆様の期待に応えるべく、日々、研鑽に努めてまいります。

巳年の 新年を迎えて



今年の目標

箭原希美
(平成13年生)



わたし
の、「今
年の目標」
は字をキ

レイに書くことです。わけは、
習字を習っているのに、ノー
トでの字は、丸っぽい字や雑
な字がとて多いからです。
それを直すためには、漢字
練習などのおくりがななどを
なるべくいいねいに書いたり、
プリントやノート、家庭学習
などでもキレイな字を書ける
ようにしたいです。
それと、私は、四年生のこ
ろからバスケットを習ってい

ます。そのバスケのし合では、
シュートをきめたいです。

二十四年目を 迎えて…

朝倉拓実
(平成元年生)



新しい
年が明け
て、三回
目の巳年

を迎えました。十二年前、ま
だまだやんちゃで小学校のグ
ラウンドを走っていた自分が、
今では社会人となり、責任の
重みや自分の行動などを考え
ながら生活していると思うと、
干支が一周する時間はとても
早く、そして多くの経験や出

来事が詰まっているのだなど
改めて実感します。

たくさんの変化が訪れた十
二年間でしたが、特に昨年は
私にも守るべき妻ができて、今
年の巳年は本当に新たなスタ
ートである節目の年だと思っ
ています。

やんちゃもいい加減に卒業
し、初心を忘れず今年からは
家族の為に自分の行動を見
つめ直し過ごしていきます。
そして、無病息災、これから
も元気な身体で家庭に仕事に、
そして地域の活動に新たな一
歩を踏み出して頑張ってい
たいと思います。

無理しない

岩崎幹茂
(昭和52年生)

私の職場では次年度より人
員減、業務量の増大が濃厚で
す。しかしながら、「無理し
ない」「明日できることは明
日する」「完璧を求めない」
をモットーにささやかに貢献
していきたいと思えます。

被災地に想いを馳せながら、
自分の境遇の幸せを噛み締め、
地域・家族の皆様感謝しつ
つ、無理せず健康第一で過ご
したいものです。

日々是精進

瀧田龍也
(昭和52年生)



地元
に帰って
きて九年
目を迎
えま

す。地域で仕事をさせていた
だいていると、様々な事があ
りますが、先日、偶然通りか
かった方に気に入っていただ
き、仕事をさせていただきま
した。じかにお客様に接する
分、大変なこともあります。
こうして自分の仕事を気に入
ていただき、次に繋がると励
みになります。
これからも、自分の仕事の
可能性を広げていけるように、
地域の方々のお力をお借りし
ながら、精進していきます。

人生の折り返し

高嶋好美
(昭和40年生)



時の経
つのは早
いもので、
五回目の
巳年を迎

えることとなりました。
これまで三人の子供に恵ま
れ、子供の成長を追いかけて無
我夢中で日々を過ごしてきま
した。また子の成長を通して
婦人会、児童クラブ、母親ク
ラブなどでいろいろな方と出
会い、新しい経験をさせてい
ただきました。

人生の折り返し地点は、私
には見えているのか、たぶん
もうそんな年齢でしょう。こ
れからどんな時代になってい
くのか、私はどう生きていけ
ばいいのか、それは難しい問
題です。今までの経験をもと
に、身近な人を大切にしてい
き、誠実に物事に取り組んでい
きたいと考えています。

還暦を迎えて

蓮田松夫
(昭和28年生)



早いもので、節目の年「還暦」を迎えました。

これまでの間、大病もせず健康で60才を迎えることができました。ひとえに地域のみなさま、会社の先輩同僚、そして何より家族の支えがあったからこそ感謝しております。今年五月には南山見小学校時代の同級生による「還暦お伊勢参り」の旅行が企画されており、思い出の小学校時代の話に花をさかせたいと今から参加を楽しみにしています。今までは仕事仕事とあつという間に月日が過ぎてきたように感じます。還暦を節目に、これからはちよつと肩の力を抜いて、我が家の愛犬と散歩をしながら、自然豊かなふるさとの良さを堪能していきたいと思ひます。

感謝の心を忘れずに

池田澄子
(昭和28年生)



今年、節目の還暦を迎える年になりました。

子どもの頃からの夢であった幼児教育の仕事について40年間勤めることが出来ました。これも家族や地域の方々のお陰と、感謝の気持ちでいっぱいです。

保育園をとりまく環境が変化する中、社会の変化に対応したよりよい保育の実現に向けて、仲間と一緒に協働して、未来ある子ども達を育てる為にながらばりたいと思ひます。昨年は、末っ子の息子が結婚して、今年には三人の子どもにそれぞれ子どもが生まれ、三人の孫がふえる嬉しい年になりました。未来を担う子ども達のために、出来る限りのことをしたいと考えています。

巳年に思う

須川義孝
(昭和16年生)



この世に「生」を受け今日まで心

身共に極めて健康で七回目の巳年を迎えることが出来ました。

私は、今まで変わらず元気で生活しているのも両親家族は勿論、現在までお世話になつた地域の皆様方のお陰だと感じています。深く感謝し、そのことを忘れることは出来ません。

今年には巳年であり、それに相応しく、国も、長引く不況から一皮脱皮し好景気を再生してもらいたい。高齢者は長寿を求め日常の政治経済にも関心があります。私達は明日に期待を寄せ、残された人生を無理無駄なく健康で充実した余生を送っていききたいと願っています。

巳年を迎えて

嶋和子
(昭和16年生)



今年で七回目の巳年を迎えました。

縁があつて南山見に嫁いで五十年があつと言う間にすぎた早いものです。

昭和三十五年頃の農業は機械が発達していなかつたので手作業なので大変だつた事が思いだされます。大きな病気もせず、家族はじめ、皆様の温かい支援があつてならこそと感謝しております。地区の皆様のお世話をさせて戴き、地区社協の協力、ボランティア活動など、そして趣味として地区の文化祭発表会ボランティアと楽しく元気で踊っております。たくさんの方と知り合い本当にありがとうございます。これからも地区の皆様と協力し合つて健康で過ごして行きたいと思つております。

思いで

前田孝子
(昭和4年生)



昭和四年に生まれました。子供の頃

は親の苦労も知らずに育ちました。「欲しがりません、勝つまでは」の時代に学生生活を送り、不二越へ学徒動員され、旋盤工として働きました。一年余りで終戦。学校に戻り翌年卒業しました。

戦後私共の農家は、棚田を耕し、稲は背に負ひ、すべてが人力でした。数え切れない苦労がありました。過ぎた事を思い出すと夢のようです。光陰矢の如し、つくづく感じる此の頃です。多くの友達に恵まれ、我が身の幸せを喜んでおります。今年には巳年、細く長く健康であることに感謝して、一日一日を大切に過ごしたいと思つております。

第35回

地区八乙女文化祭



る優雅な踊り、大正琴や三味線のステキな音色と多くの演目に会場はとても盛り上がっていました。

また、館内では各種団体の活動報告、作品展示、農産物の展示や模擬店が行われました。児童クラブの作品展示では、木やどんぐりを自由に組み合わせてトロッコ列車を作りました。子どもたちのとても素晴らしい創造力に溢れる作

11月18日(日)に八乙女文化祭が開催されました。開会式に引き続き、今年の特設ステージでは、小矢部ほほえみ劇団の皆様による演劇「認知症どーもないちゃー」がありました。とても楽しいステージでした。そして、かわいい保育園児の発表を皮切りに、この日の為に練習に励んでこられた皆様の発表がありました。音楽教室のピアノやハンドベル、児童クラブのマット運動や歌、詩吟、各グループによ



品になっていました。皆様の多大なるご協力により、盛大な文化祭となりました。(児童クラブ 川縁 実)



第37回

井波地域文化祭に参加

平成24年度井波地域文化祭が、11月3日・4日に井波総合文化センターに於て開催されました。

今年も、少年研修館書道教室、音楽教室も参加いたしました。書道教室は先生に教わり乍ら日頃練習している作品を展示、また音楽教室は全員で音楽演奏を発表致しました。少々緊張気味でしたがステキなハンドベルの音がひびきました。公民館の少年研修館活動を大切に、子供たちの成長を地区住民で見守りたいと思います。(事務局)



花壇づくりとクリスマス

12月9日、児童クラブ、母親クラブ、「井波花とみどりの少年団」で、花壇づくりとクリ



スマス会を行いました。前日の積雪の中グリーンキーパーの方々に手伝っていただき、花壇づくりを行いました。また、そのあとのクリスマス会ではツリーを飾りつけ、ケーキを食べました。ピングゲームを楽しみ、サンタクロースの登場に大喜びし、一足早いクリスマスを楽しみました。(事務局)

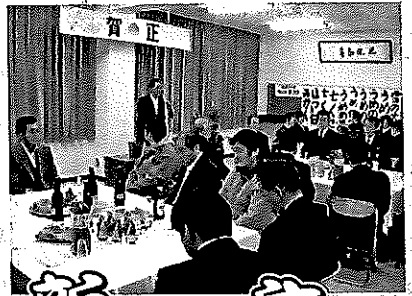




子ども達が地域の絆

南山見地区の2013年「新春の集い」は、一月四日午後六時より南山見公民館大ホールで開催され、地区住民90名余りが一堂に会し、地区のさらなる発展を誓い親睦を深めました。

澤田自治振興会長は昨年の三つの課題（市議会選挙・保



新春の集い

秋も深まった11月18日に南山見公民館で開催された、第35回南山見地区八乙女文化祭に南山見保育園の園児が参加して、舞台発表をさせて頂きました。子ども達は、地域の皆様の応援を糧に、日頃一生懸命に練習してきた歌や演奏を立派に披露することができました。

さて、皆様ご承知のとおり、平成25年3月をもちまして、南山見保育所以来、長い歴史に育まれた南山見保育園が開園になります。



（記松田 博志）

育園統合、防災訓練）の協力御礼と今年度の課題として、保育園跡地の有効活用について地区の意見をまとめ、今後の地域づくりに進捗すると挨拶されました。島田自治振興会会長、須川行政センター長がそれぞれ祝辞を述べ、才川市議会議員は昨年の議会選挙での支援に感謝し、豊かで力強い南砺市を創生するため、全力で市政運営に取り組みたいと挨拶され、篠原公民館長の発声で乾杯し、歓談しました。

そして、この文化祭に南山見保育園として最後となる園児が、このように地域の行事に参加させて頂けたことに対し、深く感謝申し上げます。

また、日頃より南山見保育園の運営につきまして、地域の方々の温かいご理解とご協力を賜りまして、心から御礼申し上げます。

のどかな田園風景の中にある南山見保育園は、広い園舎と園庭に恵まれ、豊かな自然環境の中で、子ども達はのびのびと遊ぶことができました。南山見保育園から望む八乙女山は雄大で優しく、四季の景色は子ども達にいつも何かを語りかけ、心豊かに育ててくれる宝物でした。

一方、子ども達は保育園や地域の行事に参加し、地域の皆様と触れ合うことで自然や文化との出会いがあり、子ども達の心の成長にも大きく役立ち、子ども達の存在が地域の繋がりを作る大きな絆になっていることを実感しております。今後とも、南山見地区を担う子ども達が、心豊かにたくましく健やかに育ってくださることを願っております。

南山見地区の皆様、長い間南山見保育園や園児を支援して下さいまして、本当にありがとうございます。

（記松田 博志）

のどかな田園風景の中にある南山見保育園は、広い園舎と園庭に恵まれ、豊かな自然環境の中で、子ども達はのびのびと遊ぶことができました。南山見保育園から望む八乙女山は雄大で優しく、四季の景色は子ども達にいつも何かを語りかけ、心豊かに育ててくれる宝物でした。

最後の初釜



南山見保育園の初釜が、1月15日（火）南山見公民館で行われ、年長児と年中児が参加しました。

床には軸が掛けられ、生け花や青竹に結び柳が飾られるなど、先生のご配慮により新年の華やかな雰囲気が出出されていきました。

保育園では毎月1回、亀田・徳成両先生のご指導により、お茶会が行われています。元氣な子ども達にとつてこのお

かけにより緊張もほぐれ、和やかに新春の初釜を迎えることができました。年長児がお茶を点てお運びをしている姿に成長を感じ、また、「おさきに「どうぞ」「おてまえちようだいします」と言葉を交わし、お茶をいただく姿に微笑ましさを感じました。

ご指導下さいました先生方には、日本の伝統文化に触れ、礼儀作法を学ばせていただいたことに深く感謝申し上げます。

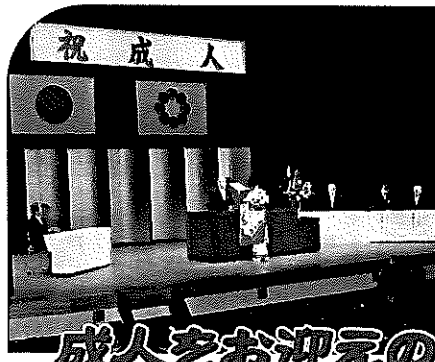
（南山見保育園 西能春美）



先生の優しい言葉

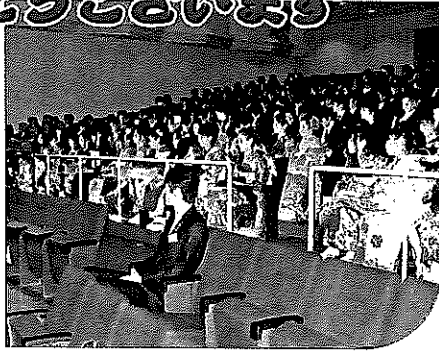


茶会は、心が落ち着く時間であり、一時の静寂感を味わうよい機会となつていきます。

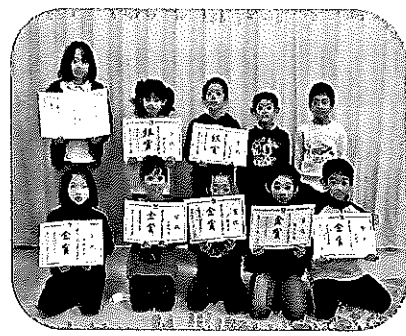


成人をお迎いの皆さん おめでとうございます

当地区では、12名の新成人が新たに大人の仲間入りをされました。市長をはじめ、来賓の方々からの祝辞を聞く希望に満ちた表情が印象的でした。その後の成人者の集いでは、



小・中学校の思い出がスライドで写され、会場内からは歓声や笑い声が響いたり、始終和やかな雰囲気の中、旧友との仲を温めているのが見られ、心に残る成人式でした。
(事務局)



賞
おめでとう
受
ごさいます

平成24年11月22・23日に金沢市「アートシアターいしかわ」に於いて、第56回現代学生読書大会が開催され、当公民館少年研修館書道教室も参加いたしました。成績は次の通りです。
(事務局)

銀賞	二年	井上莉来
賞	二年	箭原涼太
"	三年	前田平慈
"	三年	岩崎開登
"	三年	山田美弥
"	三年	谷田咲来
金賞	三年	井上幹太
秀作賞	五年	箭原希美

10月14日(日)、富田利通先生をお招きして南山見地区について、講義いただきました。地区についてといっても幅は広くなるので、先生のほうから題材をしばつてもらい、各々の集落にある「宮」が向いている方角について調べられたことを、分かりやすく地図を使ってお話しいただきました。
ほとんどの「宮」は北、北西を向いていることを教えていただきました。事前に先生から様々な要因があるが、井



公民館親子ふるさと自然体験事業

ふるさと講義と ウッドクラフト

波風の影響が大きいのではと教えていただいたおりました。しかし、子どもたちから高瀬神社に向いているとの意見があり、それも一つの見方だと感じました。普段気にならない「宮」も、違う視点からあらためて考えてみると大人の私たちも興味が引かれる内容が、地区内にはまだまだたくさんあると思います。
みなさんも、ちよつと視点を変えてふるさとの不思議を探してみませんか？
(児童クラブ 森 達之)



南山見人口

男	505名 (507名)
女	552名 (554名)
計	1,057名 (1,061名)

平成24年12月31日現在
() は昨年度

昨年()は昨年度
人と人との出会い、そして、新しい経験と勉強の一年でした。婦人会活動も継続の難しさを感じますが、時代の流れに順応しながら住民のみなさんと楽しく参加できる公民館活動になればと思います。
(婦人会 山本)

編集後記



第24回南山見地区 三世代交流の集い

2月24日(日)

午前9時〜

ご寄附

南山見婦人会様

一、金貳万円也
(備品費として)

ありがとうございました